

No.89	事業名 はばたきプランの推進	24年度 予算額	7,693 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

教育行動計画に基づき、子どもたちが生涯にわたっていきいきと輝くための教育を推進する。そのための取り組みとして、確かな学力の定着を図るとともに、特別支援教育の充実など、個を大切にしたいきめ細かな教育を実施する。また、地域資源を活用した子ども夏期大学などの体験学習、教師の指導力向上のための研修会を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内容

- ①スクールカウンセラーの配置（小学校特別支援対応）
- ②校種間連携推進事業（小中連携、小小連携の充実）
- ③介助員の就学旅行引率（特別支援教育の充実）
- ④指導補助教員の校外学習への参加（社会見学等児童引率のための旅費）
- ⑤⑥⑦国委託事業（理科おもしろ推進事業、特別支援教育総合推進事業、ことばの力育成事業）
- 拡⑧こども夏期大学（対象者を小中学生から高校生にも拡大する）
- 拡⑨宇宙教育
- 新⑩中学校生徒会リーダー研修会
- 新⑪小・中・高校生コラボ音楽体験（地域の先輩から学ぶ音楽体験、合同音楽発表会）
- 拡⑫高校生の福祉体験事業（育児・保育、介護、障害を持つ人との交流）
- 新⑬高校生による「出前授業」（生物・物理化学・書道などへの関心を高める講座）
- 新⑭「夢へ挑戦する高校生」支援事業（文化、芸術、冒険など、自主的な取り組みへの支援）

(2) 事業期間

平成 21 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

7,693 千円

3 24 年度予算

(1) 予算額

7,693 千円

(2) 事業内容（新規・拡大事業）

⑧こども夏期大学（拡大事業）

子どもたちが市内のジオサイトを巡り、新しい視点で自分たちの地域を見つめ学習することで、ふるさとの新たな魅力を再発見する。

⑨宇宙教育（拡大事業）

つくばの「スペースキャンプ」など体験活動を充実する。

⑩中学校生徒会リーダー研修会（新規）

豊岡の中学生が、リーダーを中心に自分たちでできることを考え、目指す学校やふるさと豊岡の未来を考え、共同して行動していくための研修会。

担当課名【こども教育課】（内線 2727）

施策体系番号 4-1-2

No.90	事業名 大韓民国・アメリカとの交流	24年度 予算額	3,682 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

大韓民国慶州市東川初等学校、アメリカシアトル市ウイットマン中学校との国際交流活動を推進し、学校交流、ホームステイなどを通して、外国の歴史文化、生活習慣について理解と認識を深め、国際感覚豊かでふるさとに誇りをもつ人材を育成する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

小中学校の児童生徒と東川初等学校の児童、ウイットマン中学校生徒との相互訪問

(2) 事業期間

平成 21 年度～

(3) 事業主体

豊岡市（小学校長会・中学校長会に委託）

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

① 大韓民国 3,662 千円（派遣事業は個人負担あり：児童旅費の 1/2 相当額を補助）

② アメリカ 3,246 千円（派遣事業は個人負担あり：生徒旅費の 1/2 相当額を補助
上限 60 千円）

※ 受入事業は全額市費負担

3 24 年度予算

(1) 予算額（市委託料）

3,682 千円

(2) 事業内容

交流先	派 遣		受 入	
	予 定 人 員	予定時期	予 定 人 員	予定時期
大韓民国	33 名(児童 30 名)	24 年 7 月	33 名(児童 30 名)	25 年 1 月
アメリカ	18 名(生徒 15 名)	24 年 9 月	23 名(生徒 20 名)	24 年 4 月

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

① 大韓民国との交流

平成 3 年 11 月に締結した出石町と慶州市の友好親善交流宣言に基づき、小学生児童の相互訪問交流を行っている。

② アメリカとの交流

平成 11 年 3 月に締結した出石中学校とウイットマン中学校の姉妹校提携に基づき、相互訪問交流を行っている。

担当課名【こども教育課】（内線 2731）

施策体系番号 4-2-2

No.91	事業名	幼・小・中学校医(耳鼻科医、 眼科医)の増員	24年度 予算額	5,329 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的(趣旨)

学校園における定期検診を統一し、検診内容を充実する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

現在、豊岡地域の学校医は内科医・眼科医・耳鼻科医・歯科医・薬剤師で構成されているが、城崎・竹野・日高・出石・但東地域については内科医・歯科医・薬剤師となっており、内科医が眼科・耳鼻科の検診を行っている。定期健診の統一を行うため、眼科医5名、耳鼻科医3名、豊岡市医師会と協議し、40校26園で同じ検査が受診できるようにする。

(2) 事業期間

平成24年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

5,329千円(市単独事業)

(2) 事業内容

現在、眼科医3名、耳鼻科医1名で豊岡地域の幼稚園小中学校のみ専門医による眼科耳鼻科検診を行っているが、今回、眼科医5名、耳鼻科医3名に増員し、豊岡地域のみでなく、城崎・竹野・日高・出石・但東地域の幼稚園小中学校でも眼科耳鼻科の専門医検診が行えるようにする。

担当課名【こども教育課】(内線2734)

施策体系番号 4-1-3

No.92	事業名 要保・準要保護児童・生徒への補助制度	24年度 予算額	55,285 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

経済的な理由により、就学させることが困難な保護者に対し、就学援助費を支給し、負担を軽減することを目的とする。現在の援助費目に新たに PTA 会費・クラブ活動費・生徒会費（実態に応じて支給）を支給対象とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

就学援助費の支給費目の拡大

現在支給している学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学児童生徒学用品費・修学旅行費・医療費・学校給食費・自然学校食費に加え、PTA 会費・クラブ活動費・生徒会費を支給費目として追加する。

(2) 事業期間

平成 24 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

55,285 千円（左記のうち拡大分は 3,721 千円）国庫補助 221 千円

3 24 年度予算

(1) 予算額

55,285 千円（左記のうち拡大分は 3,721 千円）

(2) 事業内容

拡大分の支給対象費目 小学校 PTA 会費
中学校 PTA 会費 クラブ活動費 生徒会費

保護者が一律に負担している費用について限度額以内で実態に合わせて支給するものとする。

担当課名【こども教育課】（内線 2731）

施策体系番号 4-1-3

No.93 事業名 子育てセンターの充実	24年度 予算額	11,755 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域における子育て支援の充実を図り、子育ての不安感や負担感を緩和し、安心して子育てができるように、地域全体で子育てができる基盤づくりを進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 子育てについての相談に関すること
- ② 子育てについての情報提供に関すること
- ③ 子育てについての学習機会の提供に関すること
- ④ 子育てサークル及び子育てボランティアの育成並びに支援に関すること

(2) 事業期間

平成 17 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

子育て支援交付金（国 1/2、市 1/2）

3 24 年度予算

(1) 予算額

子育てセンター運営事業費 11,755 千円

(2) 事業内容

- ① 育児に対する不安感や孤立感の解消や親同士の交流機会を図る。
 - ア 各子育てセンターで、「そとあそび広場」を実施（拡大）
 - イ 子育て総合センターふれあい広場に子育て相談員を配置（継続）
 - ウ 乳幼児健診（7ヵ月、1歳6ヵ月）に子育てセンター指導員が参加し、子育て相談に応じるとともに、その後の支援につなげる。（新規）
- ② 子育てセンターを拠点に地域で子育ての楽しさを実感できるよう子育て支援事業の充実を図る。
 - ア 指導補助員の増員による子育て支援事業の充実（拡大）
- ③ 子育て支援に関わる指導員等の資質向上を図る。
 - ア 指導員スキルアップ講座の開催（継続）
 - イ 子育て支援ボランティア養成講座の開催（拡大）

担当課名【こども育成課】（内線 2541）

施策体系番号 4-1-1

No.94 事業名 家庭教育の推進	24年度 予算額	3,504 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

安心して子どもを生み、楽しく子育てができるよう、妊娠期（マイナス1歳）からの子育てを切れ目なく支援するとともに、親育ちを支援する取組みを強化する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① マイナス1歳（産前）からの子育て支援事業（家庭教育支援メッセージ）を継続し、妊娠期とその後の子育て不安の解消を図る。
- ② 望ましい生活リズムについて意識啓発を図る。
- ③ 子育て経験者、子育て支援関係者からの声や、子育て事業の紹介など、子育て・子育て情報を提供することにより、笑顔で子育てができるよう支援する。

(2) 事業期間

平成21年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

3,504 千円

(2) 事業内容

- ① マイナス1歳からの子育て支援事業（継続）
マタニティママ交流広場（年3回）
- ② 望ましい生活リズム意識啓発事業（新規）
ア 基本的な生活習慣の大切さを浸透させるため、豊岡バージョンのオリジナル紙芝居を作成する。
イ 生活リズム講演会の開催
- ③ 育児のための情報提供事業（継続）
FMジャングルを利用し、「み～んな笑顔で子育て支援」番組を提供

担当課名【こども育成課】（内線 2541）

施策体系番号 4-1-4

No.95	事業名	保育の質の向上のための研修	24年度 予算額	5,068 (2,075) 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------	---------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

保育士等の研修事業への参加を促進することにより、豊岡市就学前の教育・保育計画（スタンダードカリキュラム）に基づく各園の創意工夫した公開保育を展開し、保育所職員の専門性向上と保育所における保育の質の向上を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

保育の質の向上のための研修事業への参加経費について、兵庫県子育て支援特別対策事業（安心こども基金）を活用し、民間・公立保育所ともに保育士等の研修事業への参加を促進する。

(2) 事業期間

平成 23 年度～

(3) 事業主体

民間保育所及び市（公立保育所）

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

安心こども基金（県 1/2 市 1/2）

3 24 年度予算

(1) 予算額

保育の質の向上のための研修事業費

私立保育園等振興事業費（私立保育所分） 1,250 千円

児童保育運営事業費（公設民営保育所分） 75 千円

保育所管理費（公立保育所分） 750 千円

(2) 事業内容

私立保育所及び公設民営保育所に対しては、平成 23 年度に引き続き、保育士等の研修事業への参加経費の一部に対して補助金等を交付する。（継続）

公立保育所に対しては、平成 24 年度から事業を拡大し、研修事業に参加する保育士等の代替職員を確保する。（拡大）

担当課名【こども育成課】（内線 2538）

施策体系番号 4-1-1

No.96	事業名 すくすくプランの推進	24年度 予算額	2,158 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

柳沢運動プログラムのもとに、主に3,4,5歳児の子どもたちが自ら楽しみながら遊べるように、動物に変身したり、身体を使ったゲームなどを行い、そして普段日常生活では使わない筋肉を動かすことにより支持力、跳躍力、懸垂力、回転・逆さ感覚を身につけ「動ける身体」を持つことができるよう支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、保育園・幼稚園・認定こども園では動的な遊びを日常保育の中に積極的に取り入れるとともに、運動遊び担当職員が巡回訪問し、幼児期における運動遊び事業を推進する。

平成22年度から3ヵ年計画で行っている「幼児期における積極的な運動支援が子どもの心と脳機能に与える影響」について分析及び検証を継続し、運動遊びの必要性を広く普及啓発する。

(2) 事業期間

平成19年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

2,158 千円

(2) 事業内容

① 事業効果の検証（継続）

ア 「幼児期における積極的な運動支援が子どもの心と脳機能に与える影響」について分析及び検証

柳澤弘樹氏（（財）明治安田厚生事業団 体力医学研究所）らと共同研究

② 事業普及啓発の推進（継続）

ア 保護者向け：運動遊び通信「げんキッズ」の発行

イ 教職員向け：運動遊び通信「ぴょんぴょん」、「ジャンプ」（事例紹介）の発行

担当課名【こども育成課】（内線 2541）

施策体系番号 4-1-2

No.97	事業名 認定こども園の運営	24年度 予算額	18,373 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

認定こども園の安定的な運営と保護者負担の軽減により、より良い就学前の教育・保育の充実を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

認定こども園の安定的な運営を支援するとともに保護者負担等の軽減を図る。

(2) 事業期間

平成 23 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

市単独事業

幼稚園就園奨励費補助金（国 1/3、市 2/3）

3 24 年度予算

(1) 予算額

①認定こども園短時間児就園奨励費補助事業	10,182 千円
②小規模認定こども園運営補助事業	1,528 千円
③認定こども園通園費補助事業	489 千円
④認定こども園交流保育事業	1,470 千円
⑤認定こども園通園バス運行业務 他	4,704 千円

(2) 事業内容

①認定こども園短時間児就園奨励費補助事業

保護者負担の軽減を図るため、私立認定こども園短時間児（幼稚園児）に対し、保育料の一部を補助する。

②小規模認定こども園運営補助事業

小規模な私立認定こども園（60 人以下）に対し、安定的な運営を支援するための補助を行う。

③認定こども園通園費補助事業

認定こども園（竹野地域）に通園する 4・5 歳児に対し、通園費の補助を行う。

④認定こども園交流保育・園外保育事業

少人数教育・保育を解消するための交流保育（合橋・高橋・資母認定こども園及び森本へき地保育園）等を実施する。

⑤認定こども園通園バス運行业務

認定こども園（竹野地域）に対する通園バスの運行及び添乗員の配置を行う。

担当課名【こども企画課】（内線 2551）

施策体系番号 4-1-1

No.98	事業名	城崎温泉アートセンター化構想の策定	24年度 予算額	3,248 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成 24 年 3 月に兵庫県から移譲を受ける城崎大会議館を、豊岡・城崎の持つ魅力を最大限生かしつつ、まちのイメージアップと地域活性化を図るため、芸術文化の創造拠点として「城崎温泉アートセンター化構想」を策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

城崎温泉アートセンター化構想の策定

(2) 事業期間

平成 24 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 24 年度予算

(1) 予算額

3,248 千円

(2) 事業内容

城崎温泉アートセンター化構想を策定するため、委員 8 名程度による検討委員会を設置する。その他全国で活躍する有識者 3 名程度をアドバイザーとして迎え、5 回程度検討委員会を開催する。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

24 年 5 月 第 1 回検討委員会（委員委嘱、策定スケジュールの説明）

6 月～11 月 検討委員会を 3 回程度開催（事務局と設計業者で詳細検討作業）

12 月 最終案取りまとめ

担当課名【生涯学習課 市民プラザ】（TEL24-3000）

施策体系番号 5-1-2